

次世代を担う
若手研究者必聴！

研究 インテグリティ

研究環境にまつわる
ホットニュースを紹介！

大学院生も
対象です

— 国境と学際を越える研究活動に向けて —

これからの研究に大きく関係する「研究インテグリティ」という概念について、大学院生、若手研究者、またその若手を指導する立場の教員や研究者、留学生を教えている教員、国際共同研究や学際的研究を行う研究者、さらに、こうした研究者をサポートする職員を対象に、詳しく解説します。

2022/9/22(THU) 14:00-15:30 会場:2号館508教室 ハイフレックス開催(対面×Zoom)

建学の理念「for Others, with Others」の精神 を研究においてどう実現するのか？

「研究インテグリティ」という概念は、世界的に急速に注目を集めており、我が国においても「研究インテグリティ」への取り組みが始まりつつあります。「他者のために、他者とともに」を建学の理念に掲げる本学にとって、研究本来の意義「何のために/誰のために研究をするのか？」という根源的な問いを投げかけています。

内閣府、文部科学省も取組を開始！

官公庁による規制・管理に先駆けて、「研究インテグリティ」を理解することは、研究の「価値」を担保し、そして、高めることに繋がります。

分野・立場を超えて気になる身近なトピックを交え 「研究インテグリティ」の本質に迫る！



講師

鎌田 武仁 先生

本学 特任教員
本学 国際連携 University Research
Administrator (URA)

政治学・国際関係 学士 (ミネソタ州立大学マンケート校)
行政学 修士 (ミネソタ州立大学マンケート校)
高等教育学 博士 (ミネソタ大学)

国際共同研究、高等教育国際化、そして研究インテグリティを主軸とした研究活動を行っている。本学研究推進センターの国際連携URAとして、Strategic Alliance of Catholic Research Universities (SACRU)やMIRAI 2.0 (Swedish and Japanese universities)など、複数の高等教育の国際化推進を目的とした国際共同研究プロジェクトに関わっている。Japan-U.S. Science Communication & Policy Fellowship Networkのフェロー(2022年より)に選出され、日米間の科学と政策に関する研究を行っている。

